

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称
事業名	183	暴力追放伊賀市民会議経費	会計	01	一般会計
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	款	02	総務費
施策	6	防犯意識の高揚	項	01	総務管理費
			目	21	諸費
			細目	103	暴力追放伊賀市民会議経費
			細々目	01	暴力追放伊賀市民会議経費
基本計画該当頁	87	担当部課	コード	10800	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号		名称		総合危機管理課	藤森尚志
					連絡先
					22 - 9640 (内線) 2320

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	市民、団体、企業等 (対象件数)	暴力追放運動を拡げ、暴力がなく安全、安心に暮らせる。
開始年度	平成 18 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	暴力追放伊賀市民会議の開催 暴力追放伊賀市民会議事務局の運営 啓発の推進及び会員の拡大	状況変化等 経済状況の変化等(会社倒産、組織統合等)により、会員数が減少している。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	()
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
暴力関係講演会の開催	回	実績 1	目標 1	1	1
会員数の拡大	団体	実績 204	目標 205	180	180
		目標	実績		
		目標	実績		
		目標	実績		
		目標	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
刑法犯検挙率	刑法犯検挙件数を分子とし、刑法犯検挙件数を分母とする比率を指標とする。 (647件 / 1,020件 (H15))	%	目標 30 実績 33.5	目標 35 実績 35	37	40
			目標	実績		
			目標	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	暴力団組織及び暴力団が関係している事件等は予断を許さない状況であるため、暴力団等を根絶するため引き続き県警察と一体となって、事業を進めていく必要がある。
有効性	3	会員数の大きい組織であるため実際の活動は事務局中心となっており、その活動内容等について市民への周知を拡げていく必要がある。
達成度	4	講演会の開催や経済状況の変化(会社倒産、組織統合等)などの厳しい状況にも関わらず、一定の目標は達成されている。
効率性	4	会議の開催を、公共施設を利用するなどの工夫により経費削減を行っている。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	縮小	講演会や会議の開催を公共施設等を利用し、また、啓発活動などにおいて経費を削減し対費用効果を図る。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
委託		負担金				負担金			800	負担金			700	負担金			700
工事																	
進捗率(%)		事業費計(A)			0	事業費計(A)			800	事業費計(A)			700	事業費計(A)			700
事業投入人員		人件費(B)		人	0	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440
フルコスト(A)+(B)					0				2,240				2,140				2,140

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費				
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
備考	特定財源の名称・補助基本額・率				
	地方債の区分と充当率等				
	一般財源計	0		800	700
		0		800	700